

(メンバー表は県高野連発表資料に基づく。字体は原則、新字体。数字は学年、白抜き数字は主将)

遺言書いて争族回避

26日、近江八幡 基礎知識など講義

相続手続きに関して助言、支援する「相続手続支援センター」(近江八幡市桜宮町)は26日午後1時半から近江八幡市鷹飼町南のアクトディ近江八幡で、市民セミナー「遺言のススメ」を開く。

遺言による相続・争族対策」を聞く。

同センターによると、最近、高齢の両親をもつ家族で、介護などの世話をした人とそれ以外のきょうだいの間で、民法が定める均分相続を巡って、争いになるケースが増えている。

同センターでは、親族間でのこうしたトラブルを避けるため、被相続人に、自分の死後の意向を遺言などを明確にしておくことをアドバイスしている。

セミナーでは、大林修・

同センター長が、相続の基礎知識をまず講義。これ以外にも、いざという時に備えて自分が持っている財産をきちんと整理しておく方法や、意思が明確に示せない状態になってしまったときに備え、自らが希望する終末期医療のあり方を明示してお

くこと、さらには、大切な人の思いを記す「エンティングノート」の活用法などを紹介する。

大林センター長は「自分

の考え方や、誰かへのメッセージなど直接口に出す形では伝えにくいことも、ノ

参加費500円で、先着25人。申し込みは平日に同センター(0120・783・424)へ。

743・63・8414)

まで。

西部ユーニギニア

先住民精霊像紹介

来月3日から奈良

天理参考館(奈良県天理市守町)の企画展「精

靈との出会い—インドネシア・パプア州先住民 神が

みのかたち—」(読売新聞社など後援)が7月3日、同館で開幕する。9月2日

まで。

2009年、埼玉県鶴ヶ島市から「オセアニア民族造形美術品」のコレクション465点を寄贈されたのを記念して企画した。イン

ドネシア・パプア州(西部

ニユーヨークニア)先住民の精

霊像に焦点をあて、「祖靈

の柱」(高さ5・5メートル)

や

「靈魂の船」(長さ2・1メートル)など約70点を展示する。

京セラドーム大阪(大阪市西区)で7月13日から8月25日まで開かれる「よみがえる地球の覇者!世界大恐竜展」(読売新聞社など主催)に合わせて、ホテル

大阪のホテル

京セラドーム大阪(大阪市西区)で7月13日から8月25日まで開かれる「よみ

がえる地球の覇者!世界大恐竜展」(読売新聞社など主催)に合わせて、ホテル

大阪のホテル

京セラドーム大阪(大阪市西区)で7月13日から8月25日まで開かれる「よみ

がえる地球の覇者!世界大恐竜展」(読売新聞社など主催)に合わせて、ホテル



ポートを使って整理、記録すこと)で、これから生きることで、これからの生き方を考えるきっかけになり

る」と話す。

開館時間は午前9時30分

午後4時30分。休館は火

曜と8月13・17日(7月30日と8月27日は開館)。入

館料は高校生以上400円、小中学生200円。問

い合わせは天理参考館(0

743・63・8414)。

ユニバーサルポート(同花区)は同展とのコラボ

ルーム=イメージ図)を企

画した。同展のチケットのオリジナルグッズが付いた

特別宿泊プランを販売して

おり、チケットと一緒に

此花区)は同展とのコラボ

ルーム=